

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (呉市立音戸中学校)

- ① 教科等 特別活動 ② 学年 全学年
- ③ 題材名 「被災地の方々に音戸中学校生徒の思いを届けよう」(生徒会活動)
- ④ 本時の目標 被災地の状況や、被災者、救援ボランティアの思いを受け止め、支援の気持ちを込めた被災地へのメッセージを作成することができる。
- ⑤ 学習の流れ (1・2時間目/全3時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 生徒代表のあいさつから本時の目的を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会として次の2つの支援活動を行うことを確認する。 ①支援の気持ちを込めたメッセージを作成し、被災者へ届ける。 ②募金活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで震災について見聞きしたことやボランティアの方のお話などから、支援の気持ちを込めたメッセージを考えている。〔集団や社会の一員としての思考・判断・実践〕(メッセージカード, 振り返りカード)
被災地の人々に音戸中学校生徒の思いと支援を届けよう。		
2 ゲストティーチャー(被災地で救援ボランティア活動をしている方)から、現地の様子や被災者・ボランティアの気持ちを聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に救援活動に携わっている方の話を聞かせることで、共感や実感を深めさせる。 	
3 被災地の方々にメッセージを書く。 ①お話を聞いて感じたことをグループで交流する。 ②自分の考えを一文で表現させる。 ③被災地の方にメッセージを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・現地の様子や被災者の気持ちから、気付いたことを意見交流させる。 ・震災について見聞きしたことや、ゲストティーチャーのお話を聞いたり、友だちの感想を聞いたりしたことをもとに、感じたこと気付いたことなどを一文で表現させる。 ・一文の理由を明確にししながら、メッセージを書かせる。 	
4 メッセージを発表し合い、感じたことや考えたことを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒間でメッセージを伝え合い交流することで、生徒会で行う支援活動の意義を確かにし、協力して取り組もうとする意欲を高めさせる。 	
5 今後の予定を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭でメッセージを展示し、募金活動に取り組むことを確認する。 	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 被災地の方の思いを受け止め尊重することによって、自分の思いや考えを適切にメッセージに表現することができる。
- 個々の思いや考えを理解し共有することによって、生徒会活動に主体的に参画することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 自分の考えを深めさせるために、ゲストティーチャーから直接話を聞いた後、感じたことを生徒間で交流させる。
- メッセージで伝えたいことの焦点を絞って簡潔に表現するために、自分の考えを一文で表現させ、根拠を明確にした上で、メッセージを書かせる。